



今年の4月にあった熊本地震では、益城西原地域・阿蘇地域では甚大な被害があり、熊本市内でも多くの方たちが避難生活を余儀なくされ、その後も私たちの生活や心にも大きな傷を残しました。あれから半年経ちましたが、まだまだ生活に不便を感じておられる方もおられることと思います。

このような災害の時、しょうがいのある人がどのように避難するのか、その後の生活をどうするのか、考えておかなければならないと感じてはいてもなかなか具体的にイメージすることが出来なかったということも事実です。

実際にこのような震災が起こった時、しょうがいがある方にとっては避難所での生活も大きな負担となります。身体的にも精神的にも様々な理由から、避難所の生活を諦めた方もおられたとお聞きしました。福祉避難所も設置されましたが、そちらを利用するほどの被害がないというときなどは、どのように過ごせばよいのでしょうか。今回は「意外と使えた便利なもの」を紹介します。

実際に、避難所は難しいと判断し、自宅での生活をされた方の話をうかがいました。「一番必要な水や食事に関しては、家族や近所の人との協力を得ながら避難所にもらいに行くことができました。困ったのはトイレです。身体にしょうがいがあるため近くの避難所のトイレは使いづらく使用できない。自宅は水が来ていないので、流せずすぐにもものすごい臭いを出し始めました。」

しょうがいがあると、慣れない場所ではトイレがし辛くなる方もおられます。そのような時にあれば便利なものについて考えました。

1. まずはゴミ袋（色付きが良いです）を便器にはめ込みます。



2. そこに猫のトイレ砂やペットのトイレシートを敷き、用を足します。

※猫のトイレ砂の場合、その上から砂をかけると数回使用できます。

3. 溜まったら袋を外し、しっかりと結んで燃やせるゴミと一緒に処分します。

災害の時は体力的にもつらい日々が続きます。自宅で過ごす場合、色付きの袋や猫のトイレ砂、ペットシートなどがあれば、ほんの少しでも負担が軽減できるかもしれません。トイレがない時はバケツやゴミ箱でも利用できますので、しょうがいのあるなしに関わらず便利に使用できます。

また、お風呂に入れないことが続く場合もあります。そのような時は赤ちゃんのお尻ふき用のウェットティッシュなども役立つアイテムです。

水や食事は2、3日分準備される方はいるかもしれませんが、このようなものも準備しておく心安いかもしれませんね。

..... 私たちも応援します **街の風**

<p>(生)ふくし生協 〒861-8037 熊本市東区長嶺西3-2-66 TEL 096-274-3000 FAX 096-274-3001 URL http://hc2.seikyoku.ne.jp/home/fukusi/ E-mail fukusi@mc2.seikyoku.ne.jp</p>	<p>ほおずき会 〒861-8041 熊本市東区戸島5丁目8番6号 TEL 096-380-5752 FAX 096-380-1343</p>	<p>ホープ印刷(株) 〒861-8007 熊本市北区龍田弓削1丁目4-12 TEL 096-338-0500 FAX 096-386-3001 URL http://www.hope-printing.co.jp E-mail mb@hope-printing.co.jp</p>
<p>(有)斉藤自動車センター 〒861-1112 合志市須屋670-1 TEL 096-345-1155 FAX 096-344-8916</p>	<p>(株)西部観光 〒862-0976 熊本市中央区九品寺1-5-3-2F TEL 096-361-1188</p>	<p>(有)大成電気商会 〒862-0913 熊本市東区尾ノ上3丁目6-6 TEL・FAX 096-382-2666</p>